

CMOニュース

川崎依邦 2023 年 7 月脳梗塞で倒れてからの復活の道

CMOグループ

年商 80 億、経常利益 6 億

(2027 年 10 月決算見込)に至る激動の記録

2026 年 10 月号 VOL. 307



毎月5日発行

株式会社シーエムオー

経営コンサルタント 川崎依邦

〒530-0026

大阪市北区神山町 8-1

梅田辰巳ビル 6 階

TEL:06-6367-0150

FAX:06-6367-0151

E-mail:info@cmo-co.jp

URL: <https://www.cmo-co.com>

2023 年 7 月、脳梗塞で倒れる。右半身麻痺し右手、右足が不自由となる。入院期間は 3 ヶ月、10 月に退院した。不思議であるがあまり悲しくもなく、テレビと読書とリハビリの日々。要介護 3 級と認定され、トイレにも付き添われ、車椅子で動く。その内杖をついて歩く練習を病院内でする。距離にして 200m。それでも精一杯病室の壁を伝い歩きしていく。

「川崎さんはもっとポテンシャルがあるはずよ」「寝たきりにならなかつただけでもマシよ」と看護師が励ます。10 月にはCMOグループの方針発表会があり欠席するわけにはいかないので、無理を言って退院する。車椅子にて出席できた。感無量であった。それからというもの、日常業務にカムバックし、リハビリの日々が続く。毎日 5,000 歩以上のノルマを課して杖をついて歩くことにした。踏ん張って歩くので利き足の左足にも痛みが走る。苦行である。当たり前歩くことがこんなにもしんどいとは思わず、つくづく苦行である。翌年 2024 年 7 月、要支援 1 級となる。徐々に復活への道の一步を踏み出す。周囲の人や見知らぬ人に見守られ、助けられて日々を過ごす。以来今日に至る。来客には原則として、CMO事務所で対応する。

不思議と口は回るので、CMOの拠点会議もオンラインで行う。2023 年から今日 2026 年までCMOの経營業績は伸びてきた。CMOグループの 10 月決算では年商 55 億、経常利益 5 億の着地見込み。2027 年 10 月決算では、CMOとしては大型 M&A があるので、年商 80 億、経常利益 6 億の見込みである。まだまだ道半ばである。成功しているとは思わない。たまたまである。脳梗塞で倒れてわかったことの一つ、人生はなるようにしかならないということだ。それでも一瞬一瞬全力で生きていく。無気力であってはならない。力を振り絞って歩く。その上で、人生はなるようにしかならないと思い定めていく。

以上

-経営者に学ぶシリーズ180 稲盛和夫-

～「苦しまずして栄光なし」～

「人はえてして変化を好まず、現状を守ろうとしがちです。しかし新しいことや困難なことにチャレンジせず、現状に甘んじることは、すでに退歩が始まっていることを意味します」経営環境は常に変化しているので現状に甘んじることは危険です。

チャレンジという言葉は、非常に心地よい響きをもつ言葉ですが、困難に立ち向かう勇氣とどんな苦勞もいとわない忍耐、努力が必要です。何をするにしても楽しいことがあり、辛いこともあるのです。逃げ出さずに立ち向かうことが大事です。苦しまずして栄光はありません。他人任せにせずに自ら道を切り開くのです。

運送トラック業者は6万社を超えています。同業他社との競争激化に加え、燃料費や高速代の負担があり、さらにはコンプライアンスの重圧にさらされています。多くは業績が悪くなっていますが、その中でも業績を伸ばしている会社もあります。その違いは、「チャレンジ精神・マインド」が一つの成功要因です。雰囲気が悪い会社は総じてコミュニケーション不足に陥り、業績が悪くなり現状に甘んじてしまう傾向があります。

運送トラック業者にとってコスト管理のキーワードは「コミュニケーション」です。コスト管理をするためには乗務員とのコミュニケーションをとる必要があります。経営者・経営幹部が乗務員にしっかりと教育できているかがポイントです。真正面から指導していくことが業績の良い会社の特徴です。

洗車をしない・高速代を無駄に使う・燃費が悪い・配車指示に従わない・事故が多いなど会社ルールを守らない乗務員が一人でもいれば、業績は悪いままです。現状に甘んじず、勇氣をもって会社をかえるためにチャレンジ精神を以て日々努力していくことです。

人材教育

小集団活動のすすめ方

今まで 3 回にわたって事例中心に小集団活動の進め方について展開してきた。福島県いわき市の「スパリゾートハワイアンズ」(旧称「常磐ハワイアンセンター」)の活動を取り上げる。

スパリゾートハワイアンズの実践

常磐炭鉱の跡地を利用して夢のハワイを出現しよう、と作られたのがスパリゾートハワイアンズである。「ここの人は一度、地獄を見てるから。炭鉱がダメになってみーんな東京だ、千葉だ、ってばらばらになって。会社が傾くとどうなるか、嫌ってほど見てきたから」従業員の生の声である。炭鉱がダメになってサービス業を始めた。なんとかしないと、の気持ちが QC 活動の実践へと導いたのである。従って生半可ではない。QC 活動は言ってみれば小集団活動である。品質管理運動でもある。スパリゾートハワイアンズのサークルは、踊り子、宴会係、バンドマン、植木係と職種ごとに作られている。ミーティングは原則として毎週 1 回、3 時のおやつの時間などを利用して行なっている。例えば踊り子の活動テーマは「化粧の合理化」である。化粧の手順を調べる。いわば現状把握である。この化粧で、月に 2 万円かかる人もいれば 7000 円ですむ人もいる。どこに問題があるのか。問題点の分析である。その為、眉、目の周り、唇など顔の 7 ヶ所を決め、お互いに見栄えを、良い、普通、悪いの 3 段階で評価し合い、目の周りに悪いが集中するのが分かった。不良率 54%、新人ほど不良率が高いと分かった。そして対策として化粧法の研修を行い、相互啓発を繰り返して不良率を半減させた。又宴会係のサークルは、「メニューの改善」というテーマに取り組んだ。現状分析として、残量の調査を行う。データを綿密にとる。データでものをいい、異常があれば原因を調べ処置を取る為だ。その結果、お子様ランチでは、白御飯、ハンバーグに残りが多いのが判明し、対策として白御飯はケチャップ味とし、ハンバーグを小さくした。この 2 つのサークル活動に見られるように身の回りの問題について徹底した調査を行い、ミーティングを積み重ねていくのが小集団活動の基本である。こうした活動力は、どこから生まれるものだろうか。それは一人一人の生き甲斐の充実からである。踊り子にとって、仲間と話し合い連帯感をもって問題点を見つけ、創意工夫で解決していく活動は、生き甲斐の充実につながる。この活動によって踊り子としての自信を育てプライドを身につけていくのである。

10 月度 物流経営講座(第 439 回)

川崎依邦 2023 年 7 月脳梗塞で倒れてからの復活の道

「CMOグループ 年商 80 億、経常利益 6 億 (2027 年 10 月決算見込み)に至る激動の記録」

日時 10 月 15 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 30

受講料 1 名様につき 5,000 円
(シーエムオー物流経営研究会会員様は 3 名様まで無料)

場所 アンピールホテル大阪(大阪市北区神山町 11-12)

オンライン(Zoom)でも
参加できます！！

【セミナー内容】

【1】CMOの略歴

【2】経営コンサルタント稼業時代 - 年商 1 億に達する -

【3】運送会社の M&A を手掛ける - 年間 2 件ペース -

【4】CMOグループ 更に年商 100 億を目指す

後継者 川崎健志社長を先頭に進む

【5】川崎依邦 2023 年 7 月脳梗塞で倒れてからの復活の道

経営改善計画の作成

事業承継

働き方改革に対応した
給与・人事改革や労務相談

ホームページ

(株)シーエムオーのホームページに代表取締役社長健志社長のページ「【入るをはかって出ざるを制す】川崎健志の激動週間報告」を追加しました。毎週月曜日更新。是非、チェックしてください。また、個人相談・無料経営相談もしておりますので、ご相談お待ちしております。

【問い合わせ先】株式会社シーエムオー

<大阪事務所> 〒530-0026 大阪市北区神山町 8-1 (梅田辰巳ビル 6 階)

TEL(06)6367-0150 FAX(06)6367-0151